

令和4年度 第6回 「となりのお節介さん」 部会

令和4年12月6日(火)
午後6時30分～8時00分
区社会福祉協議会 第1・第2会議室

【出席者】(敬称略)

部会員 4名
区役所 岡地
区社協 西川、大山、緒方

1) 申請状況

- ・10月～現在：申請者なし
 - ・1月に認定会開催予定
- ※現在認定者10名、登録者7名

2) インタビューについて

(1) インタビューの振り返り

- ※4名にインタビュー実施(インタビューシートは3枚)
- ・活動の想いが熱く、こちらが聞かずとも話して下さった。
 - ・和やかにインタビューできた。
 - ・自分たちの活動を語れる場がほしいと聞き取り。
 - ・「やりがい」をもっと聞きたい。
 - ・活動だけではなく、地域の中でどのような貢献、かかわりをしているのかを聞き出すインタビューにした方がよいのでは。
 - ・インタビューが面談のようになってしまっているのが残念なので、活動場に行って、話を聞けたらよいのではないか。
 - ・お節介さんの主旨とはずれてきている?“楽しそう”“しゃもじやタコは何?”など関心をもってもらうという、インタビューの過程を含めてお節介さんを広める活動ではないのか。
 - ・部会メンバー間でもお節介さんのイメージが異なる。ボランティア=お節介ではない。当初考えていた「お節介さん」は、ボランティアではなく、地域で何か困りごとがあれば手助けする人であった。イメージのすり合わせ、確認が必要。
 - ・インタビューをした活動者が幅広い活動をしているので、“となり”からは広がっている。
 - ・人知れず活動している人(活動しているが、地域のなかで埋もれている人)にスポットライトを当てるべきではないか。⇒発掘が難しいので、ボランティア活動をしている

人も対象にしてもよいのではないか。

(2) 今後の課題について

- お節介さんのめざす方向性を点検する必要がある。
 - 「お節介さん」定義、イメージのすり合わせ。
 - 申請方法が煩雑⇒申請、認定、インタビューの方法の再検討。
 - 初回申請者への再アプローチ⇒認定バッジを活動先へお届け及びインタビュー
 - 認定辞退者にも再アプローチをしてはどうか⇒活動先へ訪問及びインタビュー
- (3) 認定者へのアプローチ

- グッズを渡せていない認定者へ連絡し、活動先へ訪問する。
- 認定者に活動日・活動場所を確認し、訪問メンバーを調整する（LINE）。
- 訪問時に、活動等のききとり及び他のステキなとなりのお節介さんを推薦してもらう。
- 持参物：認定バッジ、推薦書、しゃもじ、タコ

3) 「ステキな“となりのお節介さん” だより」について

(1) ひな形

- タイトル
- タコルピイラスト
- 推薦募集（QR）
- 写真（活動風景）
- 活動名
- 個人名は了承が得られたら掲載する？

(2) 今後の検討事項 ※活動先でのインタビュー後に検討。

- ひな形
- 発信方法
- 配布先

4) その他

(1) 地域福祉推進会議の報告

- スキーム（申請・認定・インタビュー）を簡潔にした方がよいのでは。
- インタビューが人に曝されることになるのでは⇒インタビューは大袈裟になるので、活動の場に行って、活動について聞かせてもらうくらいがよいのではないか。
- 申請時に対象者の了承があることがハードルになる。

(2) 区広報紙きらり☆にしよどへの掲載

- 推薦募集
- タコルピイラスト
- しゃもじ、缶バッジの写真を掲載
- 2月号掲載⇒初稿〆切：12月10日

(3) 推薦の周知

- 推薦者にも缶バッジを渡す。
- グッズに QR コードをつける。
- 缶バッジのタコルプイラスト⇒手に何ももっていないもの

(4) シャモじ

- シャモじ (小) …裏面のみタコルプシールを貼る
- シャモじ (大) …表：缶バッジと同じデザインのシール、裏面；全デザインのタコルプシール
- カバーフィルム貼り付け…次回部会

5) 今後の予定

次回：令和5年2月10日（金）18：30～

【議題】

1. 認定会
 2. 部会
- カバーフィルム貼り付け
 - ステキなとなりのお節介さんだよりについて
 - 申請スキームの見直し